

事業内容・シーズ概要

航空宇宙用電池の開発と製造販売ビジネス

関西大学で生まれた イオン液体電池の技術。燃えない、揮発性しないイオン液体をリチウムイオン電池の電解質に使い、世界に先駆けて人工衛星用のイオン液体電池を実用化、宇宙で4年間も活躍。今後、航空宇宙分野での普及拡大と活躍の場を地球上にも広げるビジネスを展開中。

コア技術・製品情報・サービス

一般的なリチウムイオン電池は揮発性を有する電解液を使用しているため、減圧下では電池の膨れや破裂を引き起こしてしまいます。弊社開発のイオン液体電池はそれが起こらないことから、宇宙用途として注目されました。地球上でも減圧下や高温での用途拡大が期待されています。

東大の開発したほどよし3号機からの送受信試験の成功やJAXAのSS-520 5号機 小型ロケットの制御装置用電源に採用された実績があります。



協業・用途イメージ

協業：リチウムイオン二次電池のユーザー

用途：航空宇宙、深海、ドローン、ロボット、太陽光発電蓄電システム、医療分野



(C)JAXA

基本情報

所在地： 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学イノベーション創生センター309号室

代表取締役：阿部 一雄

設立年月日：2014年4月2日（関大理工系ベンチャー第1号）

会社HP：<https://ielectrolyte.net>

資本金：6,210万円

大学法人名：学校法人関西大学

大学HP：<https://www.kansai-u.ac.jp>